

駐マダガスカル大使の樋口義広(ひぐち よしひろ)です。駐コモロ大使を兼任しています。

2022年の初めに当たり、皆様にご挨拶申し上げます。

まもなく、マダガスカルに着任してから2年が経過します。着任にあたり、私は日本とマダガスカルの二国間の交流をあらゆるレベルで促進するという大きな目標を定め、その実現に向けて努力してきました。

昨年は、引き続き新型コロナ感染の様々な影響を受ける年となりました。外交活動においても制約が少なくありませんでしたが、そのような中でも、日本大使館としては、マダガスカルとの友好・協力関係の強化につながるような事業や活動を積極的に展開しました。

ラジオリナ大統領の出席の下、マダガスカルに対するこれまで最大の日本の経済協力事業であるトアマシナ港拡張事業の第2期工事の起工式を12月に実施できたことは、昨年のハイライトの一つです。当館の活動については、『在マダガスカル大使便り』の最新号(2021年12月)もご覧頂ければ幸いです。

『在マダガスカル大使便り(2021年12月)』

また、新型コロナ下の航空事情の制約により、まだ訪問できていなかったコモロを昨年8月に初めて訪問し、アザリ大統領に信任状を捧呈することができました。

持続可能で公平な経済・社会開発の実現に向けて、すでに様々な難しい課題に直面しているマダガスカルにとって、新型コロナは追加的な負担を厳しく突きつけるものです。ワクチン接種の推進を含めた対応策を通じて、新型コロナを一刻も早く克服し、開発の実現という大きな課題への取り組みを本格軌道に乗せる必要があります。日本もそのための協力を惜しみません。

今年は、日本とマダガスカルが外交関係を築いて60年の節目の年です。両国は、今年を「日本マダガスカル友好年」とすることで合意しており、この1年間を通じて、これまでの友好・協力関係の歩みを振り返るとともに、これを更に発展・進化させていくべく、一連の記念行事を実施する予定です。

私自身も、日本政府代表として、記念すべき友好年となる2022年がマダガスカルの人々にとって良い年となるよう、日本の対マダガスカル協力にしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

引き続きマダガスカル政府と国民と共に協力していけることを楽しみにしています。

2022年1月

駐マダガスカル日本国大使

樋口 義広